

職業訓練プログラム



洋裁クラス

幼稚園・小学校の父母を対象として、洋裁を教えるクラスです。コイノニア・オリジナルバック、エプロン、小物を制作して販売し生活を支えていけるよう指導しています。

コイノニア・ベーカリー

職業訓練のプログラムとして、パン、ケーキを焼くことを教え、実際こ作ったものを地域のお店や学校で売り収益をあげることを目指しています。

公衆衛生プログラム

各家にトイレが無く、下水も完備されていないスラムで、簡易トイレを普及させること、母親達への公衆衛生セミナー、育児、栄養セミナーを随時開催しています。

支援のお願い

コイノニア教育センターは、キューナ教会の付属センターです。プログラムの運営費は、子供のスポンサーシップ、教会の人々の捧げる献金と、キューナ幼稚園からの支援、有志の支援によって行われています。現在これらの活動は賃貸の建物を使用していますが、将来性を考え定住できる場所を探しています。土地を購入し、現在行っているプログラムを展開していくために必要な施設を建てることを願っています。コイノニアの今後の発展のために、どうぞお祈りとご支援をよろしくお願いたします。

コイノニア教育センターの全ての働きの推進役となっているのは、ケニヤ在住20年の市橋宣教師家族です。キューナ教会の牧師である市橋隆雄牧師はセンターのダイレクターであり、キューナ幼稚園園長の夫人サラさんはセンターの教育主事、プログラムコーディネーターとして働いています。



日本の支援窓口

コイノニア・アカデミー基金 (郵便振込み) 00160-6-373439

会計担当: 浜井和美 (Tel: 03-5951-8236)

日本での派遣母体 市橋宣教師を支える会

代表 大井満 牧師 (キリスト合同教会板橋教会)

副代表 竿代照夫 牧師 (インマヌエル中目黒教会牧師)

事務局 大嶋美和子 牧師 (板橋教会内 03-3961-9685)

コイノニア教育センター

コイノニア:「分かち合う交わり」

コイノニア教育センターは、キューナ教会の働きの一つとして 近隣地域にすむ人々への奉仕と伝道のために2003年1月にオープンしました。

目的

ナイロビ市内キバガレ・スラムに住む約1万5千人の、低所得失業家庭の親、子ども、青年たちが、貧困の中から希望を持って、生活向上のために自ら意欲的に取り組む事を助け、共に新しいコミュニティ作を推進することが目的です。

理念

コイノニア教育センターはキリスト教の精神に基づいて運営されています。このセンターの活動に関わる人々が、自分達の生活の必要を満たすことを追い求めるだけでなく、互いに愛を持って助け合い、協力し合う関係を育てていくことを目指します。



Koinonia Education Centre C/O Koinonia Ministries Kenya

P.O.Box 772-00621 Nairobi Kenya

E-mail: ichihashi@kcf.or.ke Hp: <http://www.kdn.ne.jp/~amani/>

幼稚園・小学校 (アカデミー)

目的—4歳から幼稚園2年間、小中高校12年間の一貫教育のなかで、キリスト教信仰に基づく全人格的教育を提供すること。社会の中で神様と人々に奉仕する人格として育てる事を目指しています。少数クラスの中で経験ある教師の指導の下、学力を身につけ、社会性を養い、マナーを学びます。



カリキュラム—ケニア政府が定める幼稚園、小学校教育を行いつつ、体育(基礎運動、水泳、空手)、音楽、美術(絵画、陶芸)などの情操教育にも力を入れています。子どもたちが自分に与えられている才能を発見し伸ばすことを目指しています。



運営—一人の子どもにかかる経費は、1年間で約12万円です。そのうちの6万円は一人一人の子供のスポンサーが支えています。その他の必要は、キユーナ幼稚園よりの援助、有志による献金によって支えられています。

保護者の関わり—子どもたちの保護者は1ヶ月400円の月謝を払います。毎学期末の保護者会に出席すること、必要に応じて教師からの呼び出しに応答して面談に来ることが義務づけられています。親としての責任を自覚し子供達の教育に参加しつつ共に成長することを目指しています。

給食—子供達は毎日10時に雑穀のおかゆ、アフリカ料理の昼食、3時にポップコーンかピーナッツを食べます。日常の食生活で不足しているビタミン、たんぱく質、カルシウムなどの栄養素を充分を含んだ給食は、子どもたちの基礎体力を高め、成長を助けています。子どもたちの多くは一日の栄養のほとんどをこの給食に頼っています。



健康診断—子どもたちは定期的に健康診断を受け、診断の結果を親たちに報告し、育児、健康栄養指導カウンセリングを行なっています。毎日学校で歯磨きをしています。



教材—学習に使われる教材、文房具はケニア、イギリス、アメリカ、日本各国から必要と思われるものを購入して使用しています。書籍、おもちゃ、教育ビデオ等ほとんどが寄付されたものです。寄付されたコンピューターを用いてコンピュータクラスも始めました。普段使われることのできないコンピューターを使いインターネットによって広い世界にアクセスしています。

コイニア・キッズ・クラブ (小学生対象)

目的—小学生を対象とした教育プログラムです。スラムの子どもたちが不法な労働や犯罪に関わらないように、また学力が低いことから、自主退学をし、ストリート・キッズになることから子どもを守るために、子ども達が勉強の面白さを体験し、自分の家族と共に地域社会の中で生きていけるよう助けることを目的としています。毎週土曜日に行われています。参加費は無料



聖書の学び—聖書の話を毎回聞きます。

ゴールデン・ルール

- 1、お互いを思いやる
- 2、助け合う
- 3、話を良く聞く
- 4、物を大切にすること
- 5、嘘をつかない
- 6、時間を無駄にせず一生懸命に取り組む

ゴールデン・ルールを毎回確認し、社会に出て責任ある市民になれるよう、訓練しあう事を目指しています。しつけは大切な要素です。

学習—英語と算数の学習をレベル別に行います。簡単なドリルを使って子どもたちの学力を伸ばしながら、楽しく学ぶことを経験します。指導者は教会のメンバーで学校の先生や、大学生達です。



特別プログラム—科学の実験や、工作などの時間は、特別に外部からのボランティアの先生方によって行われます。ボランティアの方々と子どもたちとの交流は、子供たちの目と心を広い世界に向けさせるチャンスでもあります。ケニア以外の国から、このプログラムに関わるために来てくださる方もあります。



サッカーチーム—毎週勉強の後、サッカーの練習です。月1回のトーナメントはスラムの子ども達がたくさん集まって行われます。3ヶ月に1回は他のチームとの試合も行っています。サッカーを通してルールを守ること、チームワークを育てることを学びます。他の学校やチームとの交流も大切な社会勉強です。



ホリデースクール—学校の休みの期間にも勉強とスポーツを中心としたプログラムを行います。また給食も支給し、休み中の健康維持を助けています。